



調剤過誤防止ピッキングシステム

正 *Tadashi*

バーコード読み取りで
モノ間違いによる調剤過誤を防止

- 薬局規模や調剤方法に合わせた運用が可能
- 充填時鑑査機能により、自動錠剤分包機や散薬調剤の安全性も高められる
- 統計機能で改善状況が一目でわかり、店舗管理指導が適切に行える
- 予製剤の鑑査も可能(オプション)

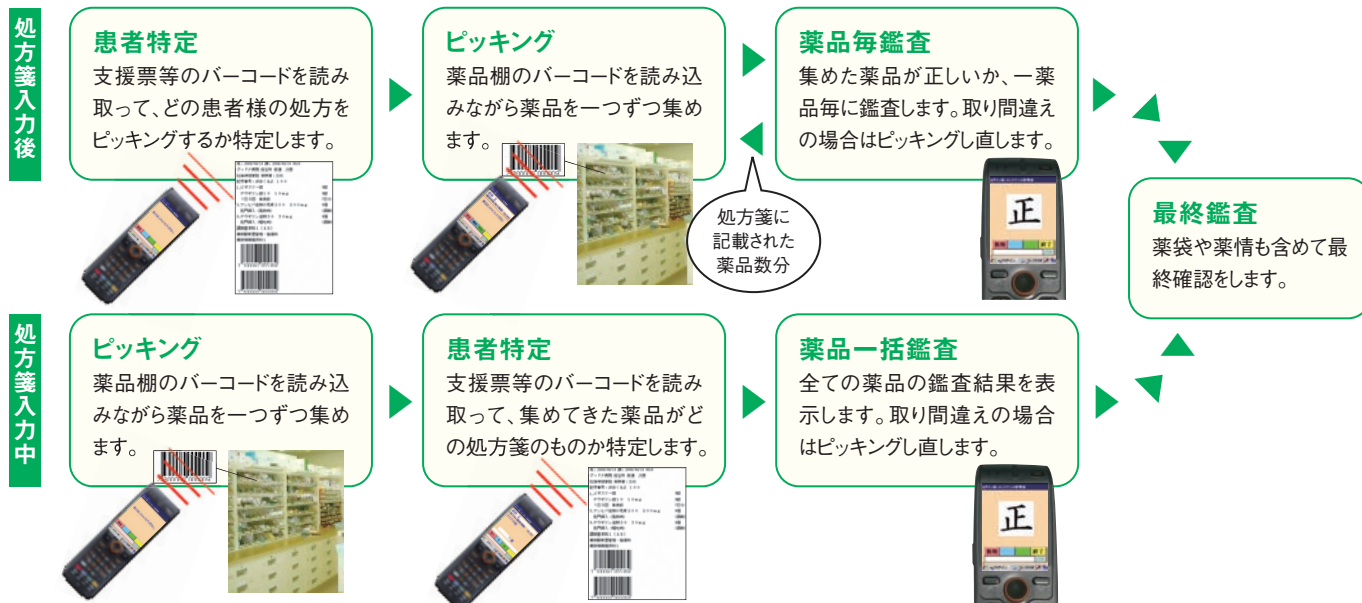
■ 主な業務機能紹介

● 鑑査方法は2通り

薬局様の運用形態に合わせた鑑査方法を選ぶことができます。

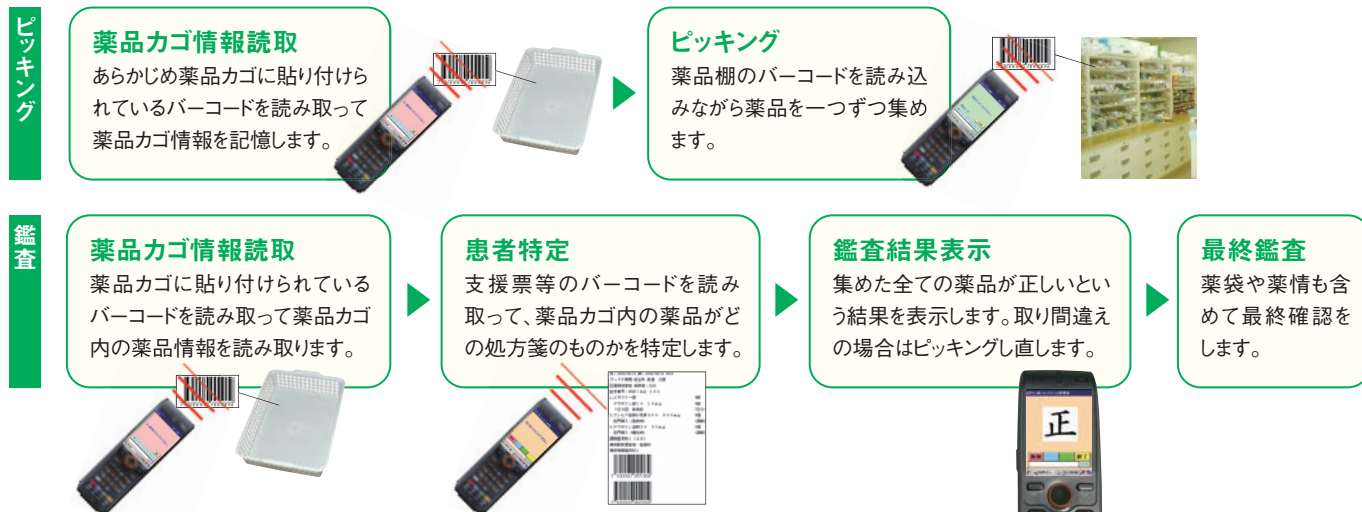
入力後運用

一人の患者様毎に薬品鑑査の方法を切り替えて行う運用ができます。処方箋入力が遅れている場合は薬品バーコードを先に読み込んで先行調剤を行えば、素早く投薬できます。また処方箋入力が先に完了している場合、一薬品毎に即時鑑査を行えば、その場で取り間違えに気づくことができます。



薬品BOX運用

ピッキングと鑑査を別の薬剤師様が行う運用ができます。調剤者が集めた薬品カゴ内の薬品データを一時的に保存し、鑑査者が薬品カゴ内のデータを呼び出して鑑査を実行できます。



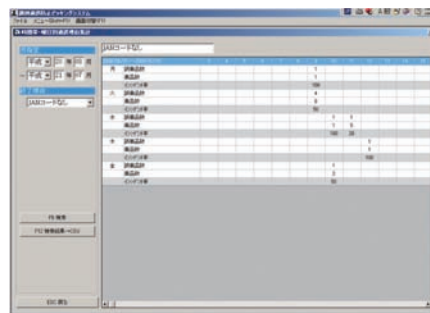
● 充填時鑑査

充填する薬品のバーコードと、薬品棚に貼ってある薬品のバーコードを読み取って鑑査する事で充填ミスを防ぎます。

● 統計機能

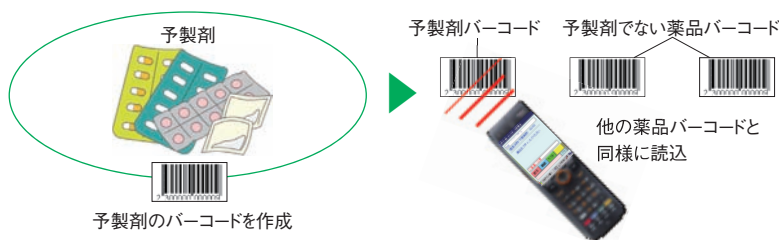
店舗での鑑査実施状況について、以下の統計データを見ることができます。ピッキングミス の状況・原因を分析して対策を立てることで、調剤過誤防止に繋がります。

- ・薬品別集計
- ・調剤者別インシデント集計
- ・時間帯・曜日別過誤集計
- ・時間帯・曜日別過誤理由



■ オプション

- 予製剤作成時に間違いがないか鑑査し、作成した予製剤は調剤時にまとめて一つのバーコードで読み取って鑑査する事ができます。



【企画・開発・販売・保守】

インフォテクノ株式会社

本社:〒060-0061 札幌市中央区南1条西11丁目327-20 ITCビル
 TEL 011-223-6660 FAX 011-223-6661
 関東支社:〒220-0011 横浜市西区高島2丁目19-3 日通商事ビル8F
 TEL 045-442-0671 FAX 045-442-0681
 URL <http://www.infot.co.jp/>
 E-Mail eigyout@infot.co.jp